

(別添2)

令和2年度脱炭素・資源循環「まち・暮らし創生」FS委託業務(第1回)
評価採点表

評価委員 _____

申請者:

合計点 _____ /10

* 合計点は以下の式で算出
[(確認項目①～⑤の平均点) × 1/2 + 総合評価点] × 1/2

- 採点の目安
- 10点 : 特に優れている
 - 8点 : 優れている
 - 6点 : 問題ない(採択しても良い水準に達している)
 - 4点 : 多少問題がある
 - 2点 : 大きな問題がある

1 確認項目

(「採点の目安」をご参照の上、全ての項目について各項目10点満点で採点してください。)

| 項目 | 確認事項 | 評価 (10点満点) |
|----------------------|---|---------------|
| 1 業務に対する理解度 | ・業務の意義、最終的な目標が明確であり、かつ適切であること。 ・業務の成果は、環境省の施策に活用可能なものであること。 | |
| 2 実施体制・実施計画 | ・本業務の意義、最終的な目標に対して、適切な実施体制となっており、妥当な実施計画であること。 ・業務内容のうち、その技術的な要素、課題を明確に挙げた上で、調査を通してそれらを解決するうえで十分な知見、体制を有していること。 ・再生可能エネルギーの導入等や技術開発について、学術経験者等による助言が得られる見込みがあること。 | |
| 3 的確性 | ・本業務の意義、最終的な目標に対して、提案された業務内容が的確な手段となっていること。 ・課題に対して、適切な調査方法が提案されていること。 | |
| 4 実現性 | ・技術開発の一層の加速化や採算性も考慮した社会実装が見込まれること。 ・調査という概念を逸脱しない範囲で、小規模実証試験や現場検証を行うなど、当該年度中に、現地で実現性のある取組が行われること。 | |
| 5 独創性 | ・既の実証済みの技術等の調査ではなく、本業務の意義、目標に沿った独創的な提案がなされていること。 | |
| 6 CO2排出抑制に関する評価方法 | ・CO2削減量を推計する適切な評価方法が選択されていること。 | |
| 7 地域の復興への貢献 | ・町村の現状を踏まえ、地域の復興に貢献するものであること。 | |

2 総合評価

①～⑦の確認項目の観点に加え、3の事業経費の妥当性やそれ以外の観点も含めた総合評価を、「採点の目安」をご参照の上、10点満点で採点してください。また、問題点、変更すべき内容等についてコメントがありましたら、こちらにまとめてご記入ください。)

| | 評価 (10点満点) | コメント |
|------|---------------|------|
| 総合評価 | | |

3 事業経費の妥当性

(事業経費が妥当であるかどうかを評価いただき、A(妥当)、B(やや経費過剰)、C(非常に経費過剰)の3段階でご記入ください。BまたはCとされた場合は、コメント欄にそのように判断された理由をご記入ください)

| | 評価 (A, B, Cの3段階) | コメント |
|---------|---------------------|------|
| 事業費の妥当性 | | |